

風土記の丘の花だより¹⁰⁸

今、そしてこれから見られる植物(2021年10月30日)

やっと咲きました。今ごろ咲きました。今年もまた咲きました。など色々な咲き方がある今年の秋の花たちです。今回もそんな花を紹介しましょう。



「三役そろい踏み」、まるで相撲の千秋楽みたいですね。今ごろサクラが咲いているのです。ヤマザクラ、カスミザクラ、ソメイヨシノで三役そろい踏みです。春のような華やかさはありませんが、所々でチラホラ咲いています。「狂い咲き」なんてい



う失礼な言い方をされる方がいますが、別にサクラは狂ったわけではありません。サクラは「今が咲き時」と咲いたのです。この気候が開花に適していたのでしょうか。散歩しながらサクラの花を探してみてください。



モチツツジのピンク色の花も今ごろ咲いています。だいたい5月頃に咲く花ですが、一月以上前からずっと咲いています。この写真は小早川家の前の坂道沿いで撮りましたが、他の場所でも咲いていることでしょう。ツツジの花の中央にある模様は虫を誘い入れるための目印だと言われていますが、この季節、虫の訪来は余り期待できそうにありませんね。



万葉植物園でリュウノウギクが咲き始めました。まだ少しですが、まもなく満開になることでしょう。先日、道から少し入った所でイナカギクを見ましたが、ここには白いキクはこれだけですので、間違えることはありませんね。各地で菊花展が開催される季節ですが、野の菊もとても美しいですね。



色とりどりのノブドウの実がきれいです。残念ながら食べられませんが、つい立ち止まって見とれてしまうほどの美しさです。紫や水色のきれいな実は「ちゅうえい・虫こぶ」で、正常に熟したものは白い色をしています。葉が深く切れ込んだものをキレハノブドウとして区別することがあります。でも違うのは葉の形だけで、実の美しさは同じです。

松下